

# 本郷集落支援だより

25.apr.oct.

発行元 岩国市本郷支所 集落支援員

吉平晴美 tel (0827)75-2311



10月13日、休校中の波野小学校を会場に、地域の方が自主的に取り組む恒例の波野地区大運動会が開催され、支援・参加させていただきました。当日は10月ながら太陽が照りつける、夏のような暑さとなりましたが、その暑さに負けない熱気と笑顔に包まれた日となりました。年に一度の開催ですが、校舎もグラウンドも大変きれいに保たれており、日頃から運動会に向けて地域の方が掃除、整備に心を配っていることが伝わってきました。運動会には、小さな子供を連れて帰省した若い方々も多く参加され、さながら『子連れ同窓会』のような賑わいを見せました。数年ぶりに参加された波野原地区の高齢者の方に、競技に参加するよう声がけをしたところ、はじめは戸惑っていらっしゃいましたが、ゴルフ競技に参加し、結果ホールインワンを出して、嬉しそうにしていらした姿を見て、喜びを分けていただきました。定年延長などで多忙な現役世代が中心となって、細かな段取りと準備を懸命に協力されており、この集落ならではの家族的な絆を改めて感じ、その絆がより一層深まったようでした。



昨年に引き続き支援させていただいた、餅まき用の紅白餅づくり。つきたての熱々の餅を、切っては丸め、2斗のもち米が、和気あいあいとした雰囲気の中、着々ともろぶたに並べられていきました。普段あまりコミュニケーションをとれない人同士が、暮らしのあれこれを話す良い交流の機会となりました。





波野さわやかサロンは本年度、岩国市社会福祉大会で長年のサロン開催の功績が認められ

「岩国市社会福祉協議会長表彰」を受けられました。

皆さんがこれまで楽しく、コツコツと

活動されてきた積み重ねの証だと感じます。

これからも、居心地よく緩やかに集える場で

あるよう繋いでいきたいと思ひます。

9月、10月のサロンでは、季節の収穫物を使ったかんたんレシピをお配りしました。

レシピを参考に作って頂いた方の感想を

うかがうのが楽しみです。



10月26日 本郷ふるさとフェスタが開催され、うどんを販売する婦人会のブースのお手伝いをさせていただきました。このブースは波野地区の女性メンバーの方が多く、お声がけいただいたことがきっかけになりました。

本郷中学校の生徒さん4人も加わり、お昼時間にうどんを求める長い列ができ、焦ってしまいそうそうな雰囲気の中でも、丁寧に心をこめ温かいうどんを提供できました。

また、ふるさとフェスタ会場の横にある本郷ふるさと交流館では、地域の皆さんが「学びの成果」を発表・共有する生涯学習作品展が開催されました。

様々な世代の作品が一堂に会し、稲穂の黄金色、秋色に染まった会場は、さながら昔の村の収穫祭を思わせる活気にあふれていました。

集落支援員として、夫婦淵の川の写真と、3月に行われた集落支援員パネル展示の際に描いたイラスト、そして波野地区の「みんなでつくる集落map」（仮名）の情報を書き込んでもらうための地図を展示しました。その結果、幾つかの新しい情報を記入いただき、中にはLINEで直接伝えてくださる方もいらっしゃいました。当初は付箋に端的に書く方が気楽かと思ったのですが、「付箋では書ききれない」と、写真を添えて伝えてくださるなど、嬉しい想定外のやり取りも生まれました。

